

# 第47回 日本分子生物学会年会 バイオテクノロジーセミナー

高感度な次世代型蛍光 *in situ* hybridization メソッドと  
自家蛍光消光デバイスが拓く空間的遺伝子発現解析の新展開

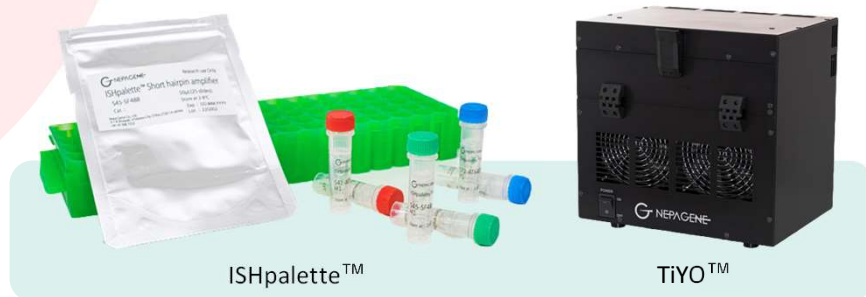
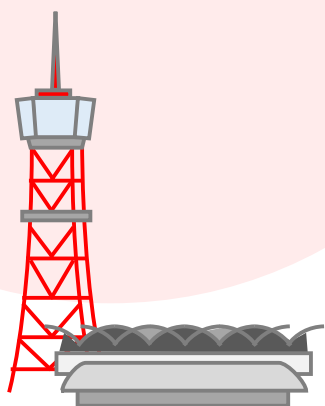
11月28日(木)11:45~12:35

第11会場 福岡国際会議場2階(202)

司会：蒔苗 亜紀(ネッパジーン株式会社)

高感度マルチプレックス蛍光 *in situ* hybridization  
によって明らかになったマウス性行動の神経メカニズム

東邦大学 医学部 解剖学講座微細形態学分野 准教授 恒岡 洋右 先生



NEPAGENE